

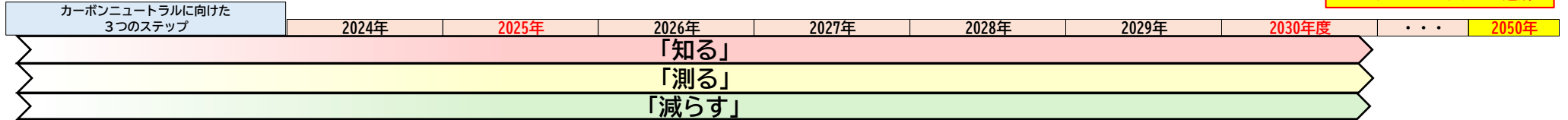
日本空調衛生工事業協会 カーボンニュートラルロードマップ2030

★2021年
政府目標「2013年度比46%、年4.2%の削減」

★2024年
「空調衛生工事業のカーボンニュートラル行動計画」発表

★2025年
「カーボンニュートラルロードマップ2030」策定

★2050年
カーボンニュートラルの達成



1. 環境経営の推進 ⇒脱炭素に向けた情報発信として会員企業に向けたセミナーを年1回以上実施すると共に、関連情報の提供並びに会員企業の環境貢献活動についての調査や、環境経営を推進するための勉強会を適宜実施する

(1) 情報発信

- 1) セミナーの開催 : 年度当初にテーマを決め、1回/年以上実施
- 2) 関連情報の提供 : 国の施策、関連業界の取り組み状況等の情報を洗い出し、共有
- 3) 環境貢献活動の調査 : 企業会員の取り組み内容を調査し、共有

(2) 取組状況のモニタリング・共有

- 1) 取り組み状況のモニタリング : 企業会員の取り組み状況等の調査結果を公表
- 2) 勉強会の実施 : 会員企業からの要請等を踏まえ、適宜実施

2. 環境負荷の低減 ⇒2030年度までに全ての会員企業がCO2排出量削減に取り組めるよう、空調衛生工事の特徴を踏まえた簡便なCO2排出量の算定方法を検討すると共に、CO2排出量削減に資する好事例を取集し、会員企業へ展開する

(1) 施工段階の取り組み

- 1) 施工現場（元請）におけるCO2排出量算定状況の把握 : 【目標】2030年度までに全ての会員企業が、施工現場（元請）におけるCO2排出量を算定すると共に、削減に向けた具体的な取り組みを行う
- | | | | | | | |
|--------|----|----|----|----|----|-----|
| 達成率[%] | 25 | 30 | 40 | 70 | 90 | 100 |
|--------|----|----|----|----|----|-----|
- 2) 施工現場（元請）におけるCO2排出量算定方法の検討 : 算定方法に関する調査を継続して行い、全ての会員企業が無理なく取り組める方法を構築し、会員企業へ展開
 - 3) 施工現場におけるCO2排出量削減に資する事例の収集 : 好事例を共有

(2) 事業活動の取り組み

- 1) 事業活動におけるScope1・2・3を踏まえたCO2排出量算定状況の把握 : 【目標】2030年度までに、全ての会員企業が、事業活動におけるCO2排出量を算定すると共に、削減に向けた具体的な取り組みを行う
- | | | | | | | |
|--------|----|----|----|----|----|-----|
| 達成率[%] | 25 | 30 | 40 | 70 | 90 | 100 |
|--------|----|----|----|----|----|-----|
- 2) 事業活動におけるScope1・2・3を踏まえたCO2排出量算定方法の検討 : 算定方法に関する調査を継続して行い、全ての会員企業が無理なく取り組める方法を構築し、会員企業へ展開
 - 3) 事業活動におけるScope1・2・3を踏まえたCO2排出量削減に資する事例の収集 : 好事例の収集

3. 環境への配慮 ⇒既存建物の省エネ改修、省エネ運用に関する効果的な推進方策を検討すると共に、ZEB・ZEHの推進並びにBIMを活用した温室効果ガス算定手法の検討に取り組む。また、フロンの適正処理の徹底に向けた取り組みを行う

(1) ZEB化、省エネ提案の推進

- 1) 施主への省エネ化提案の推進方策の検討
- 2) ZEB事例（新築、改修）の収集
- 3) BIMを活用したCO2排出量算定方法の検討

(2) フロンの適正処理の徹底

- 1) フロン排出抑制法順守の徹底
- 2) 勉強会の実施 : 会員企業からの要請等を踏まえ、適宜実施

※各取り組みが対応するステップを以下の通り表記している

- ⇒知る
- ⇒測る
- ⇒減らす